



北の沢

札幌市立北の沢小学校 学校便り

令和7年(2025年)10月31日

No. 9



子どもたちの「～したい。」を大切に

学ぶ力育成部 岩倉 智也

校庭の木々の葉が次第に色を落とし、冷たい風に乗って舞う季節となりました。

本校では、授業づくりの中で、子どもたちの「したい」をどう引き出していくのかを意識しています。学びの中心にあるのは、子どもたちの心の動きです。子ども自身の思いや関心を出発点にして学びを組み立てていくことで、授業は生き生きとしたものになります。

そのため、私たちは授業の導入（イントロダクション）を大切にしています。授業の中で「やってみたい」と思えるきっかけをどう生み出すかが学びの深まりを大きく左右するのではないかと考えています。例えば、身近な出来事や子どもたちの実感から問いを立てたり、「これ、どう思う？」と投げかけたりするだけでも、教室の空気は変わります。子どもたちが「自分も考えてみたい。」と感じる瞬間を作り出すことが大切です。

また、単元のはじめに子ども自身が学びの見通しをもつことも大切にしています。「どのようなことができるようになりたいのか。」「どのようなことを調べたいのか。」子どもたちが自分の言葉で語る時間を持ち、その思いをノートなどに残しておきます。そうすることで、学びの途中で振り返り、「前に言ったこと、できるようになったね。」と確認したり、「ここはもう少し考えたい。」と自ら課題を見つれたりする姿が見られます。教師が道筋を全て決めるわけではなく、子どもと共に計画を立てることが、主体的な学びを育てる力ギになると感じています。教室を見渡すと、子どもたちの「もう少しやってみたい。」「次はこうしたい。」と言った小さなつぶやきが次の学びの力になります。

冬間近の冷たい風の中にも、子どもたちの温かな意欲があふれています。これからも、子どもたち一人一人の「したい」を大切にしながら、教室の中に学ぶ喜びが満ちるよう、授業で子どもたちの考え・思いをつないでいきたいです。